

令和3年7月28日開催定例美祢市教育委員会会議録（要旨）

開催日時 令和3年7月28日（水）午後2時から午後3時15分

開催場所 勤労青少年ホーム2階「図書室」

出席委員

中本 喜弘 教育長
金子 明美 教育長職務代理者
山本亜由美 委員
刀禰 信子 委員
山田 裕治 委員

5人

出席教育委員会事務局職員

末岡 竜夫 教育次長
八木下理香子 事務局長
河村 充展 // 教育総務課長
渡辺 義征 // 学校教育課長
千々松雅幸 // 生涯学習スポーツ推進課長
池田 正義 // 文化財保護課長
藤本 儀昭 // 学校教育課指導班長
倉増 裕 // 教育総務課総務班長

8人

開 会

教育次長 末岡 竜夫

午後2時 末岡教育次長が令和3年度、7月第4回の教育委員会会議開会を宣言する

冒頭報告（要旨）

教育長 中本 喜弘

本日は暑い中、月末開催での出席に感謝する。

連日暑い日が続いており、美祢市は猛暑日にこそなっていないが山口市は猛暑日となっている状況でそろそろ一雨欲しい感じである。

先週から東京オリンピックが始まり、開催までは賛否両論あったが連日の日本選手の活躍とメダルラッシュで勇気と元気をもらっている。反面、オリンピック起因ではないと思われるが4連休を含めて新型コロナウイルスの感染者が増えており懸念される所であり、山口県でも増えているがおかげさまで

美祿市においては感染の発生がないという状況で一安心している。

64歳以下の優先順位に沿って私共も先々週1回目のワクチン接種が終わったところであり、事務局においても何人かはその状態になっている。

市内のワクチン接種は順調に進んでおり、教職員の方々も美祿市に勤務している方の中には美祿市で接種された方もいるようで安心をしている。

夏休みも始まり、子どもたちが新型コロナウイルスの関係で外出とかの制限があるのでと残念に思っている。

山口県出身である大野選手の柔道での金メダルは凄かったが卓球の石川選手は個人戦でベスト8に残れずに残念だった。団体戦で頑張ってくれるのではないかと思っている。

暑い中ではあるが早速資料に沿って進めさせていただく。

署名委員指名

教育長 中本 喜弘

署名委員に金子職務代理、刀禰委員を指名する。

会議録承認

教育長 中本 喜弘

前回の会議録の承認について、事前に山田委員と金子職務代理へ配布された会議録への意見、質問を委員に求める。

全員承認

教育長報告（要旨）

コロナ禍であり、一部の県外参加者の関係等延期になっているものもあるが、重要な会議が列記されていると思うが7月は無事滞りなく終えている。

スポーツ関係では空手と少年女子野球が全国大会出場ということで7月13日に激励会で市長から激励していただいている。

次の日の7月14日にはスポ少バレエ下郷美東チームが中国大会出場ということでこちらも市長報告に来られ、しっかり皆で激励したところである。

7月21日は人権ふれあい講座を「配偶者からのDVについて」ということで山口県の男女共同参画相談センターの山根所長さんを招き開催した。まだまだ偏りがあるということで、職員を含めて100人を超える方に受講していただいたが、男性の方は特に胸に手をあてて考えさせられることがあったのではないかという内容であったのでしっかりと人権について考えていきたいと思う。

一昨日には特別天然記念物である秋芳洞照明植生対策委員会を開催した。コロナ禍でスケジュールが遅れているが、今年度末には各委員の皆様方に専門性を持って調査していただいた調査報告をまとめるということで、九州大学名誉教授吉村先生が委員長となって、それぞれの分野ごとの報告をいただいて了解

をいただいた。これから委員ごとに報告書をまとめていただくこととなっているので素案が完成したら広く市民の皆様と考える機会が持てればと考えている。

報告を終了し、委員に意見を求める。

意見がないことを確認し、行事報告を終了する。

議題及び議事（要旨）

教育長 中本 喜弘

今回の定例会への提案は報告1件と議案2件である。

報告第11号についての説明を求める。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

報告第11号 美祢市スポーツ推進委員の解嘱について

美祢市スポーツ推進委員は、明朗、健康で活かに富んだ国民生活の確立を期し、社会体育の普及推進を図るため、市が設置しているものであり、教育委員会等が行う体育事業に協力するとともに、体育活動の指導及び各団体の活動連絡を図ることを任務としている。

この度、委員の逝去に伴い令和3年6月27日付けで解嘱することについて同日臨時代理したので教育委員会に報告するものである。

教育長 中本 喜弘

議案第52号についての説明を求める。

学校教育課長 渡辺 義征

議案第52号 令和4年度使用美祢市立中学校教科用図書採択について

【非公開】

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長職務代理者 金子 明美

説明のあったとおり昨年度美祢市では社会では帝国書院が採用された。今回自由社が図書採択の対象となったということだが、県の選定資料等から自由社の教科書が帝国書院に対して優れている点、新たな特徴等がみられるのかどうか、あとは学校現場で帝国書院の教科書は使用されていると思うが、不都合があるとか使いづらいつつとかという声が出ているかどうかお尋ねしたい。

もし無いのであるならば昨年度丁寧にしっかりと協議して決定しているので新たに採択の必要はないのではないかと考える。

学校教育課長 渡辺 義征

金子職務代理からの意見であるが、現在自由社の教科書の見本も届いていないので我々も目にしていない状態で県教委からの選定資料しか判断材料がない状態である。

直接、帝国書院と比較して良し悪しは一概には言いにくいところではあるが、資料を見てみると

- ・写真や表・グラフ・関係図などが豊富に掲載されている。また、歴史上の人物や事象に関する詳細な解説が脚注に記載されることで本文の理解を促す工夫がある。
- ・各章末に「歴史用語ミニ辞典」や「ひとこと作文」等のコーナーがあり、各時代の特徴を捉えることができるページが設けられている。
- ・各章末の「対話とまとめ図のページ」ではキャラクターが登場し、学習した時代を概観しながら自らの考えを話し合う場面がもうけられており、生徒が時代の特徴を振り返ることができるように工夫されている。
- ・海外の情勢や人物等に関する詳細な解説が随所に見られ、世界史と関連した内容が充実している。

となっている。

もう一つの帝国書院であるが、こちらは昨年度の採択時の資料になるが、こちらの資料も随所に色々な特色があるということで選定していただいている。特に本市が採択した一番の理由は山口県の資料を非常に多く取り扱っており子どもたちが理解をしやすいのではないかとということとビジュアル的な部分もよいということで採択いただいた。

もう一つの質問は現在学校で使用するにあたって不都合はないかということだが、学校に問い合わせ確認したところ、とても指導しやすく困ることはないということで、特にビジュアル的で生徒にとっては学習内容を非常にイメージしやすい。各時代の最初のところに見開きで2ページに渡ってその時代についてのイラスト付きで全体像をつかみやすくしてある点が優れている。

教育長職務代理者 金子 明美

ありがとうございました。

委員 刀禰 信子

自由社や帝国書院の特徴や良さを伺ったが、自由社の歴史教科書に良いところがある。帝国書院も先生方から話を聞くと何も問題はなく、山口県の特徴を子供たちに伝えられる、ビジュアル的にイメージをつかみやすい、全体像が先ず、つかめてからその時代の学習に入れるという話を聞くと、自由社も良いのは間違いないのであろうが、金子職務代理も言われたとおり研究調査や昨年に

協議を重ねた結果に採択となったものであり、現在使用中の学校からの意見を聴きとりされた話を聞く中で、実際に先生方が使われている過程において帝国書院の良い部分が見えてきているので、そのまま帝国書院の使用で良いのではないかと思う。

教育長 中本 喜弘

2人の委員からの帝国書院の教科書の継続使用で良いのではないかとの意見があったが、他に意見はあるか。

全員意見なし

教育長 中本 喜弘

特に意見がないようであれば現在採択して使用している帝国書院の教科用図書の使用をそのまま継続するということでよいか。

全員意義なし

教育長 中本 喜弘

議案第52号は、現在使用している教科書を継続して使用するという進めさせていただくことを確認した。

教育長 中本 喜弘

議案第53号についての説明を求める。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

議案第53号 美祢市生涯学習のまちづくり推進協議会委員の委嘱及び解嘱について

生涯学習のまちづくり推進協議会は、生涯学習のまちづくり関係に係る問題の提起や検討に関する事、関係事業の推進及び啓発活動に関する事などを所掌している協議会である。

この度、関係機関の代表者等の変更等により、委員の委嘱及び解嘱をしたいので、教育委員会の承認を求めるものである。

なお、委員の任期は、令和4年3月31日までとするものである。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

質疑がないことを確認し、議案第53号は承認された。

教育長 中本 喜弘

本日、提案した議案はすべて承認された。

教育長 中本 喜弘

続いて、協議報告を各課から求める。

教育総務課長 河村 充展

教育総務課から、大きく2点ほど報告する。

まず、1点目、表彰規程に基づく表彰候補者の件である。

先月の定例会議でもお話ししたが、表彰候補者については、各学校長及び各課からの推薦に基づき、本日の会議の議案として提出する準備を整えていた。

7月7日の締切りの段階で、2個人、2団体の推薦があったが、このうちの1件、学校から推薦があった個人表彰の対象者について、疑義が生じている。

被表彰候補者は、学校歯科医として25年以上という表彰要件を満たしており、候補者に該当する方であり、今年度の候補者とする予定ではあるが、実際は33年学校歯科医として御協力いただいている方で、そもそも表彰漏れではなかったのかという疑問が出ている。

については、このようなことが起きないように、再度、学校医、学校歯科医、学校薬剤師について、候補者に該当する方がいないか、調査する期間を要すことから、今月の議案提出を見送り、来月の定例会議に提出させていただく。

なお、その他にも、学校教育、社会教育の関係でも表彰することができるようになってきているが、同様なことが起きていないか確認する必要があるが、各種団体との情報共有も必要であり、すぐの対応は出来かねるので、このあたりはしっかり精査して、教育分野でご貢献いただいた方々の表彰が漏れることがないように、基盤づくりを行っていければと考えている。

次に、オンライン協議会の件であるが、本日お配りしている資料を御覧いただきたい。

昨日、令和3年度市町村教育委員会オンライン協議会の案内が届き、申込締切りが8月2日になっている。

昨年度も、皆様方に御参加いただいているオンラインでの協議会であるが、資料2枚目の中段、9月2日、11月18日、12月23日、2月10日の4回に分けて開催される。教育委員の皆様方は1, 2, 4回目が対象となり、それぞれの回の分科会テーマも決まっているので、御希望のテーマで御参加いただければと思っている。

この件については、会議終了後、ご希望を伺うので、よろしく願います。
教育総務課からは以上である。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

続いて学校教育課に協議報告を求める。

学校教育課長 渡辺 義征

学校教育課からは大きく3点報告する。

1点目は、5月27日（木）に小6、中3を対象に実施した、「全国学力・学習状況調査自校採点の結果について」について報告する。

2点目は、1学期の各学校の状況である。コロナ禍の状況下で小学校では大嶺小学校と豊田前小学校以外は運動会を終えることができ、中学校においても行先を変更するなどして修学旅行を終えた。無事1学期の全てを終了したところである。

学校でも特別な事件・事故もなく過ごせており、夏休みに入ってからも特別なこともなく、このまま健康に過ごして8月25日の2学期を迎えられればと思う。

3点目は、令和3年度の美祢市教育委員会学校訪問の予定である。前回の会議の時に学校訪問の予定をお配りしたが、9月議会の日程と3校が重なってしまい変更させてもらった。また近づいたら詳細等をお知らせするのでよろしく願います。

都合がつかない場合等はお知らせいただききたい。

併せて9月4日の土曜日に於福中学校以外の中学校で運動会が開催される。コロナ禍ということで日程を半日に変更したり、集まる保護者の人数制限をかけたりの実施ということを各学校は予定しているので、今年度も教育委員会からの訪問は遠慮したいと思う。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

続いて生涯学習スポーツ推進課に協議報告を求める。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

生涯学習スポーツ推進課から4点報告する。

1点目は、全国大会の出場報告である。まずは空手の関係で大田小学校1年の福永大悟さん、大田小学校4年の福永陽向さんが8月28、29日に東京武道館で開催される全国大会に出場されることとなっている。続いても空手で拳美会、下関市中等教育学校1年の平岡佑月さん、小郡中学校2年の増本果歩さん、3年の増本朱里さんが8月20日から22日に維新大晃アリーナで開催される全国大会に出場されることとなっている。

女子軟式野球で山口ガールズに所属する大嶺中学校2年の中嶋菜月、伊佐中学校2年の高月柚衣さんが8月20日から25日で京都のわかさスタジアムで開催される全国大会に出場されることになっている。

スポ少バレーは、美東スポーツ少年団、これは淳美小と大田小と大嶺小と伊佐小からなるチームになっているが、周南総合スポーツセンターで8月7日と8日で開催される中国大会に出場される。

また、市長への表敬訪問があったわけではないが伊佐中学校と美祢青嶺高校出身の源裕貴さんが、陸上の関係ですが7月17日に開催された北連ディスタンスチャレンジ千歳大会に参加されて陸上男子800mで1分45秒75という日本記録タイとなる記録を出されて優勝されたので併せてご報告したい。

2点目は、社会教育委員会議について、7月20日に勤労青少年ホームで開催。委員16名のうち11名の出席があり、改選後初の開催ということで議長に中原和昭さん、副議長に松野登美子さんが再任されている。

会議におきましては令和2年度の主要事業の説明、令和3年度の基本方針・重点施策・主要事業計画・予算・社会教育委員の活動計画等の説明をしている。その時に出された委員の意見としてはコロナ禍にあってスポーツイベントがどのように変わったのか、それによって予算が余ることになって残してほしいという要望であった。

文化連盟の関係では、会員数、登録団体が減ってきているので何とかしていかねばならないし、国際芸術村との連携も考えていかねばならない、公民館活動は、自分の住んでいる地域の公民館活動、行事がなかなか伝わってこない、わからないという意見もあった。公民館は住民教育の最前線であり協育ネットなどのコーディネーターといった役割もある。職員体制の充実についての質問等があった。

文化財関係だと秋吉台上の有刺鉄線、博物館の運営方針、展示内容についての意見があった。

全般として感じたのは社会教育委員として公民館活動、公民館を核とした地域づくりに関わっていきたいという感じを受けた。各委員それぞれの立場での活動内容、例えばこども食堂の運営等を紹介いただいた。

3点目は、人権教育ふれあい講座である。7月21日から6回の講座を開催することになっており21日は参加者が多数の為、市民会館の大ホールで114名の方が参加された。第2回目は8月5日に美東センターで開催することとしているが今現在47人の参加申込がある状況である。

4点目は、山口県立大学・美祢市サテライトカレッジである。9月4日「本当の仏教」、9月11日「平家物語」「先帝身投」、9月18日「古代の美祢-長門・周防国との関わりを中心に-」というタイトルでの講座を予定している。

定員50人に対して、9月4日については22人の申込、11日については21人、18日については23人の申込が出ておりご都合がつけばご参加いただきたい。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

続いて文化財保護課は報告事項がないとのことなので、世界ジオパーク推進課に協議報告を求める。

事務局長 八木下 理香子

世界ジオパーク推進課からは防災教育の取組について1点報告する。

資料の最後になるが、淳美小学校が土砂災害警戒区域になっており、大雨が降った時に裏山が崩れるのではないかと校長がかなり心配しており防災教育に力を入れていきたいと言っておられた。

ジオパークは地域の地質地形遺産ということで防災教育にも役立てることから、淳美小と世界ジオパーク推進課で連携して防災教育を進めている。前回の教育委員会会議でも口頭で報告したが、先月5、6年生を対象に保護者の引取り訓練に合わせて世界ジオパーク推進課職員が出前講座でワークショップを実施し通常は防災のことを考える機会も少ない中、まず災害時の行動について親子で考えるきっかけづくりとなる取組をさせてもらった。併せて学校としては避難計画も実効性の高いものにしたいとの思いがあることから、山口大学秋吉台アカデミックセンターに相談して、昨年できた山口大学地域防災・減災センターと淳美小学校を繋いだオンライン会議を今月8日に実施した。この中で、校長の要望を踏まえて淳美小学校での避難計画への助言を受けたり、危険個所の把握、小学校と地域を含めた防災教育に協力をいただけたりすることになった。

淳美小以外にも市内には土砂災害警戒区域に入っている学校もあるのでこういった取組を他の学校にも広げていければと考えている。

教育長 中本 喜弘

世界ジオパーク推進課からの報告について、意見や質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

全体的に意見や質疑を求める。

委員 山本 亜由美

公設塾の説明会等の申込が先週までだったと思うが、どのくらいの申込があるのか。

学校教育課長 渡辺 義征

23日までの申込ということで、その後も変動があって増えていると聞いてい

るが、23日までの時点で保護者説明会が28名、体験入塾会も28名の申込があった。これはオンラインも合わせての全ての人数である。

委員 山本 亜由美

地区でいうとどこが多いのか。

学校教育課長 渡辺 義征

地域でいうと美祢地域がやはり多い状況であり21名となっている。

委員 山本 亜由美

中学生に対する説明会もあるはずだが、それも美祢地域が多いのか。

学校教育課長 渡辺 義征

多くなっている。

委員 山本 亜由美

美東や秋吉とかはやはり少ないのか。

学校教育課長 渡辺 義征

そういう状況である。

各学校での説明会の中では子供たちに好評だったが、家に帰って親と話して、子供達同士の中で話して、何人かいれば一緒に行こうという話になるが、一人では行きにくいのではないかと思っている。

委員 山本 亜由美

わかる気がする。

委員 刀禰 信子

新聞で見たが、文科省から小学校5、6年生を対象に英語、理科、算数、体育について教科担任制をという記事があったが、2つお尋ねしたい。

美祢市の実態がどうなのだろうと思う。大嶺小学校では算数の専科や英語の専科の先生がいて、於福小学校では非常勤の先生に理科を受け持ってもらっている。他には学習支援員の先生に外国語を受け持ってもらおうとか、美祢市は支援員が充実している印象があるが、教科担任制について美祢市の現在の実態はどうか。

もう一つは美祢市ではこれからどのように進めていくのだろうか。小中一貫教育の先行実施が一部始まり、来年は美祢市全ての小中学校で小中一貫教育が行われるのだが、校舎が併設でないという状況での小中一貫教育であれば中学校の教員が指導に入ったりするなど凄く期待している。今後、美祢市では教科

担任制についてどのように進められるのか。

学校教育課長 渡辺 義征

現在の実態であるが、英語の指導を全員が大学で勉強していない状況であるので、専科教員が配置されることで、専門的な授業が行われている。ALTも配置しているし、複式校の場合も英語は複式を解除しながら授業を進めるという形で専科指導が行われている。それ以外のところでいうと教頭や教務主任等が理科の教科を教えるという形で実施している。

今年度、大嶺小学校に高学年の教科担任制をするための加配が一人ついている。大嶺小学校はこの加配を活用することによって教科担任制に取り組んでいる。複式の学校では一人で2学年を受け持っているのも、そういう学校においては専科指導がなかなかできていない状況である。色々なところで先ず専科指導の前段階として学年ごとで授業交換をしているが、実態として規模が小さい学校はそれも難しいところである。

来年度以降については、刀禰委員が言われるように小中一貫で専科指導や教科担任制ができないかということであるが、一定期間を決めて先生が専科指導を行う形を取らないと専科指導とはならないが、施設が離れていると移動に時間がとられるので直ぐに小中一貫の取組が専科指導に繋がるという状況ではない。しかし、美東中校区で今年度2学期から英語について専科指導に取り組むのでできることからやっていき広げていきたいと考えている。

文科省の方からは教科担任制を始めるということについて示されているが、本市のように小さな規模のところでの具体的な方策は伝わってきていない。しかし、色々な工夫をしながらやりたいとは考えている。

委員 刀禰 信子

ありがとうございました。

教育長 中本 喜弘

なかなか難しいところであるが、是非、子供たちのためにしていきたいと思う。他の委員に質疑を求める。

委員 山田 裕治

昨年の定例会の時にコロナの関係で夏休みが短縮されるが、環境整備ができていないといった話もあり、給食が出ないという話があったと思うが今年はどうなっているか。今後のこともあるがどうされるお考えか。

別件であるが淳美小学校の大きなクスノキが半分枯れているがどうなるのか心配なので教えてほしい。

また、タブレットの運用が始まっていると思うがその後の経過はどのようになっているか伺いたい。

教育総務課長 河村 充展

最初の給食の件だが、今年から本格的に夏休みの8月の最後の週が短くなり、給食が出せないかという話になったが、今年度は午前中の授業ということで給食はない。言われているのは給食調理場や配送、学校での給食の受け入れ態勢のことだと思われるが、今年度は大田学校給食共同調理場においてはエアコンを整備して現在使用されているが他の調理場についてはない状況である。

配送車についても保冷車の環境を整えているところであるが、問題は受け入れ側の給食を一時的に置く場所の態勢が整っていない状況である。

こういった諸課題について8月末に教育委員会の事務局と給食関係の関係者が集まる学校給食運営協議会という機会があるのでその中で今後の方法を検討したいと考えている。

教育総務課総務班長 倉増 裕

淳美小学校のクスノキの件であるが、3月頃に枯れ始めたという連絡を受けて、現地確認をして、樹木医の方に診断していただいたり、原因を突き止めるために試掘して確認したり、よくあるのがクスノキの根の部分の部分が踏み固められて土が固くなり空気や水分が行き届かない状況又は水分が多すぎる状態になると問題になることが多いということであるので、地面に穴をあけて内を柔らかくし、空気や水分を送り込む作業等を行ってもらい、擁壁周辺の試掘等で原因を探ってみたが原因をつきとめることはできなかった。

実際に枯れているのは概ね木の半分で、現在は樹木医さんと様子を見ようということで経過観察中となっている。

クスノキの対応については学校側も校長が地域の方と一緒に対応したいとも言われていると聞いている。

学校教育課長 渡辺 義征

タブレット端末の状況であるが、6月の中旬に各学校の活用状況の調査を行った。実際のところ学校間の格差がみられ、主に使っているのはインターネット環境を使った調べ学習、ある学校ではプレゼンテーションをするソフトを使っている学習、ワープロソフトを使っている学習というところなどに使っている。

一番はA I型の学習教材のキュビナをこの4月から使っているところであるがこちらも使用状況は一律ではない。一つは大嶺中学校の通信環境の不具合が改善できずにいて、今も手立てを探っているところである。ここは台数が多いので全台数が一気に接続されると通信速度が出ないということで原因を探っているところ。他の学校については調査時に使用状況に差があったので、使えてなさそうな学校には指導主事が訪問してもう一度使い方について説明や指導をしている。そのことによって若干改善がみられている。各校の1学期の活用状況についてソフト会社の方から連絡が来ており、明後日の30日に指導主事

と話をし、活用状況のデータを参考にしながら夏休み中に各学校に指導して更なる活用の促進につなげたいと考えている。

家庭への持ち帰りについても持って帰っているところは毎日のように持って帰っているがそうでないところもあり、夏休みは必ず持ち帰りをしてほしいと全学校に伝えてある。

家庭のWi-Fi環境についても6月に調査をした時には、9割の家庭がWi-Fi環境が整っているということで、残り1割の協力をどういただくかということについて検討しているところである。

昨年度はWi-Fi環境を整える費用について補助をする制度をつくり、支援を行った。今年度同様の支援についての案内を夏休みに持ち帰っていただいたので、いくつかの家庭ではWi-Fi環境を整えていただけるのではないかと考えている。

Wi-Fi環境がなくてもタブレット端末は使うことはできるので例えばタイピングソフト等が入っているので入力する力を付けていただきたいし、勉強する中で写真を撮ってまとめていくということもできる。

教育長 中本 喜弘

3点の質問に対して回答があったが、何か質疑はあるか。

委員 山田 裕治

結構。

教育長 中本 喜弘

現状は課題が山積している状況である。

委員 刀禰 信子

現在、夏休みに子供たちがタブレットを持って帰っているということだったが、夏休みの課題においてタブレットを使った課題というのは出ているのか。そういう課題があると活用が進むのではと思うが。

学校教育課長 渡辺 義征

こちらの方で全て把握はできていないわけではないが、キュビナはWi-Fi環境がないと家庭では使用できないので、使いたい子供は使ってくださいという状況で、タブレットを必ず使って行う課題を出しているということは基本的にはない。すべての家庭でWi-Fi環境を整えばそういった課題が出しやすいが、そういう状況ではないので課題は出ていないと思う。

しかし、タブレットを日常使いの文房具という感覚で使ってほしいと考えている。学校で習った使い方、それぞれの工夫によって色々な使い方をしていき、良い使い方を共有して広めていってほしいと思っている。

また、一律に課題が出せるようになったら考えていきたいと思うが、今は先ず子供たちがタブレットに慣れることが必要だと考えている。

委員 刀禰 信子

ありがとうございます。

教育長 中本 喜弘

G I G Aスクールも始まったばかりということ。

先生方も得手、不得手があり、校長によっても学校の温度差があって積極的な授業への活用について格差があるのが現実である。

しかしながら、管理職面談でもタブレットの使用は必須であると校長、教頭にも話をしてある。先ほどの2つのアンケートによってもまだまだ使用が開始されていないところについては藤本班長が加わり指導主事全員4人がかりで研修に加わり少しでもボトムアップが図れるようにやっている。

全国や山口県でも部分での使い方のデータはあるが、1年通しての学年ごとのモデル的なものはまだないので、全国的に暗中模索のなか進めていっている状況である。しっかりと子供たちが使えるように環境整備を整えていきたい。

委員 山本 亜由美

実際に子供2人が家に持ち帰ってきたが、小学生の子は色々なことを調べよとか自由研究を調べてみようということ等で使っていて、中学生は実際に写真を撮って保存をして貼り付けて取りまとめることをしていたが、子供がタブレットの使い方を理解しておらず四苦八苦していたのでもう少し学校で丁寧に教えてもらえたら助かる。

教育長 中本 喜弘

今の意見が実状だと思う。それぞれの学校、学年、クラスとかではかなりの使用頻度があるところもあるのであるが、意見にあった状況も多々あるのが現状である。

学校教育課長 渡辺 義征

指導に努めたいと思う。

教育長 中本 喜弘

その他の意見を求める。

全員意見なし

教育長 中本 喜弘

最後に、次回の教育委員会会議の開催について事務局に提案を求める。

教育次長 末岡 竜夫

今回の定例教育委員会会議は令和3年8月27日（金）午後2時から本庁3階委員会室で開催する旨を通知。

全員了承

閉 会

教育長 中本 喜弘

午後3時15分教育委員会会議の終了を告げる。

令和 年 月 日

教育長

委 員

委 員

会議録作成